



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



ニットの困りごと、どう解決する？



ニットのトラブルは、自分ではなかなか手に負えないことも多いですね。そんなときは私たちにご相談ください！これまでに、「チクチクを解消したい」「ゴワゴワをどうにかしてほしい」「首のタグを外してほしい」など、いろいろな要望にお応えしてきました。もちろん、毛玉の処理やお直しなども承ります。

肘に空いた穴をあえて大きな布でふさぎ、もともとパッチ付きのデザインだったかのように見せなお直し事例がこちら↓



寒い時期に大活躍のニット。雪国の冬には欠かせないアイテムですよね。着用中やお手入れ時にトラブルが起きてしまった時、どのように対処したらよいでしょうか？

【洗濯に失敗して縮んでしまったとき】

間違えた洗濯方法や、そもそも家庭洗濯できないものを洗ってしまうなど、ニットが縮んで困った経験をしたことがある人も多いでしょう。ギュッと硬くなり平らな布地のようにってしまったものは、フェルト化しているため元に戻すことができません。ちょっと短くなった、または幅がきつくなったかな？という程度の縮みなら、家庭でも直すことができます。ニット全体にアイロンの蒸気をたっぷり当てて、やさしく手で伸ばしましょう。アツアツなので、やけどに気をつけてくださいね。幅を大きくしようと横に引っばると丈が短くなり、丈を伸ばそうとすると幅が狭くなる場合がありますので、全体のバランスを見ながら、少しずつ伸ばすのがおすすめです。※アイロンを押し当てるのではなく、浮かせた状態で蒸気を当てましょう。

【引っかけてしまったとき】

ニットの編地は糸がループ状になっているため、ちょっとした拍子に引っかけて、糸が飛び出てしまうことがあります。ほんの少しなら、周辺の生地を上下左右にやさしく引っばることで自然に糸が収まります。長く糸が出てしまった場合、糸がそれ以上引っかからないよう、応急処置をしましょう。かぎ針などを使って網目の間から裏側へ糸を引き入れておくと、表面的には気にならない状態になります。



【穴が開いてしまったとき】

穴が開いてしまったニットをそのまま着続けると、どんどん穴が広がってしまいます。何らかの方法でふさぐ必要がありますね。目立たないように繕うのが一般的ですが、最近では“ダーニング”という方法のお直しも人気です。あえてちがう色の糸を使ってアクセントにしたり、個性的なデザインでオリジナリティを出す人も。関連本もたくさん出ていますし、インターネットでもやり方が検索できるので、興味のある人はぜひチェックしてみてください。冬の手仕事として楽しむのもよさそうです。



生食には、甘みの強い芯の方(内側)がおすすめ！

白菜がおいしい季節ですね☺ 鍋料理や漬物のイメージが強い野菜ですが、我が家では白菜サラダが人気。千切りにした生の白菜に好みのドレッシングをかけるだけ。アクセントにゴマやナッツ、カリカリに焼いたベーコンをトッピングしてもおいしいです。



営業案内 (赤い日はお休みです)



2月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

OPEN*9:00-CLOSE*18:30

※お休みや営業時間に変更になることがあります



越後堀之内 雪中花水祝 令和6年2月11日(日)

「雪中花水祝」は江戸時代から伝わる堀之内の大切な伝統行事です。子宝を願って新婚の男性に水をかける“水祝いの儀”がメインですが、ほかにも見どころがたくさん。古式ゆかしい装束に身を包んだ人たちの大行列は圧巻です。うまいもの市、ハト市など催しもありますので、お誘い合わせてお出かけください。

2月11日(日) 業務はお休みですが、雑貨販売などのためお店は開けておきます。

ちょっとした相談や、おしゃべりだけの来店も大歓迎です！ (交通規制あり)